

第5学年国語科学習指導案

日時 平成17年 9月8日(木) 6校時

場所 第2音楽室

児童 5年3組 男17名 女18名 計35名

指導者 浅利 朱実

1. 単元名 伝え合って考えよう

教材名 人と「もの」との付き合い方

2. 単元設定の理由

(1) 児童観

子ども達はこれまでに、5年上「インタビュー名人になろう」で、あらかじめ決めておいた聞きたいことのみ尋ねてくるのではなく、相手の話を受け止めながら自分の聞きたいことを引き出すインタビュー活動を行い、相手にわかりやすく話したり、答えを正確に聞いたりする学習をしてきた。

日常的な活動としては、朝の会で、自分が選んだ新聞記事の事実に意見や感想を加えて話すスピーチ活動を行ってきた。

これらの学習や活動を通して、相手の話をうなずきながらいねいに聞き取り、それを受けて共感したり、さらに質問したりする力が徐々についてきている。また、人前で話すことに対する抵抗感も少なくなっている。

しかし、スピーチ活動においても、普段の学習の発表においても、自分の伝えたいことを分かりやすく話すために、話の組み立てを工夫したり、具体例を入れたり、聞き手の反応を確認しながら話したりできる子はほとんどなく、相手の話の意図をしっかりとつかんで、それに対して本当にかみ合った感想を言ったり、質問をしたりできる子はほんの一部の子達である。よって、伝えたいことを分かりやすく話す力や相手の意図をつかみながら聞く力は、まだまだ不十分であると言える。

(2) 教材観

本単元は、資料「ごみ問題ってなあに」をきっかけに、自分なりの課題をもって調べ、発表して交流し、まとめとして書くことを通じて、自分の生活の中での「もの」との付き合い方を見直すことを目標としている。

「話すこと」においては、自分の課題についての資料を収集し、組み立てや資料の提示の仕方を工夫して話すことによって、調べた内容や感想をクラスの友達に分かりやすく伝えることができる。また、「聞くこと」では、聞き取りメモを用い発表者の考えと自分の考えを照らし合わせるという視点を与えることによって、話題のとらえ方の違いや共通点を明確にしながらか聞くことができる。と考える。

以上のことから、児童に伝えたいことを分かりやすく話す力や相手の意図をつかみながら聞く力を育てるには、有効な教材といえる。

(3) 指導観

「話すこと・聞くこと」の言語活動への関心、意欲、態度を高め、指導と評価の一体化を図り、本単元のねらいに迫るために、以下のことを指導の手立てとして位置づけた。

関心を喚起させるために

- ・ 児童自身の身のまわりの出来事を思い出して話し合わせることで、環境問題は実は自分たちのすぐそばで起きているのだという認識をもたせる。

- 江戸時代の日本やアフリカのマラウイの人々の暮らしが分かる絵や拡大写真などを見せ、資料の内容を補足説明することにより、ごみを出さない社会の事例に興味をもたせる。
- 発表がゴールではなく、「考える」ために「伝え合う」学習であることをしっかりとらえさせ、学習の見通しをもたせる。

意欲を持続させるために

- 児童が主体的に調べられるように、関係のある本を教室にそろえておく。
- グループ学習を取り入れ、難しいと感じている児童も教え合いながら安心して学習できるようにする。
- 発表の練習場面では、よいモデルを提示し、発表のポイントとなる言葉を確認する。
- 三人組で練習する活動は、資料を提示しながら、ほかのグループの練習の音が妨げにならない環境で練習するために、教室ではなく音楽室で行い、広い活動場所を確保する。

態度を育成するために

- それぞれの作品のよさを付箋に書いて貼り、感想を交流し合う。
- 発表会後の作文を家族に読んでもらい、感想を聞くことで成就感を持たせたい。

指導と評価の一体化を図るために

- 毎時間、自己評価を行い、次時の指導に生かす。
- 評価規準をもとに個々を見取り、次の学習への手立てを明らかにし、指導する。

3. 単元の指導目標

「ごみ問題ってなあに」をきっかけに、自分なりの課題をもって調べ、発表して交流し、まとめとして書くことを通じて、自分の生活の中での「もの」との付き合い方を見直すことができる。

4. 単元の評価規準（B）

ア 国語への 関心・意欲・ 態度	関心		ごみ問題に興味を持ち、自分と「もの」との付き合い方について考えようとしている。
	意欲		自分の課題を解決するために、調査活動を行ったり、発表をしたり、それらの活動を経て深まった自分の考えを文章に書いたりしようとしている。
	態度		自分と友達の考えを比べながら、自分の考えを深めようとしている。
イ 話す・聞 く能力	構 成 要 素	1	自分が調べてみたいごみ問題や、人と「もの」との付き合い方について、課題を見つけている。
		2	調べた内容や感想が相手に分かりやすく伝わるように、組み立てや資料の提示の仕方を工夫して話している。
		3	自分の考えとの共通点や相違点を、明確にしながら聞いている。
ウ 書く力			事実と感想・意見を区別しながら、自分の考えが明確になるように、組み立てを考えて文章を書いている。

5. 単元の指導計画（話す・聞く9時間 書く6時間 計15時間）

時間	主な学習活動	具体的評価規準(B)と【評価方法】	指導の手立て
一次	第1時 教科書を読み、身近な環境問題について話し合う。	アー ごみ問題に興味を持ち、自分と「もの」との付き合い方について考えようとしている。 【授業の観察】 【学習プリントの記述把握】	・身近な環境問題について、具体的な状況を思い出して話し合えるように、助言する。
	第2時 資料を通読し、人と「もの」との付き合い方について考え、自分の生活に照らし合わせて感想をまとめる。	アー 教科書の資料から事例や筆者の主張を読み取り、自分の生活と比べて感想を持っている。 【授業の観察・発言】 【学習プリントの記述把握】	・拡大写真などを用いて補足説明し、ごみを出さない社会の事例に興味を持たせる。
	第3時 自分が調べてみたいごみ問題や、人と「もの」との付き合い方について課題を見つけ、学習計画を立てる。	イー 自分が調べてみたいごみ問題や、人と「もの」との付き合い方について課題を見つけ、学習計画を立てている。 【学習プリントの記述把握】	・学習計画が書き込めるワークシートを用意し、主体的に学習を進められるように、各段階の終わりに書き込む内容を指示しておく。
二次	第4・5時 自分の課題を解決するために、各自で調べ学習を行い、必要に応じて結果を整理する。	アー 自分の課題を解決するために、計画にしたがって調べ学習を行い、結果を整理している。 【授業の観察】	・調べ学習に活用できる本のコーナーを設ける。 ・一人で調べ学習を進めるのが難しい子には、グループで取り組ませる。
	第6時 調べたことや考えたことをもとに発表メモを作成し、聞き手によく分かるように、話の組み立てを工夫する。	イー 聞き手によく分かるように、話の組み立てを工夫している。 【発表メモ】 【授業の観察】	・発表メモの並べ替えを実演して見せ、話の組み立てを変えると印象がどう変わるかに気づかせる。
	第7・8時 発表に必要な材料や調査結果を整理して資料を作成する。	アー 発表メモをもとに、必要な資料を整理して作成している。 【資料】【授業の観察】	・基本的な資料の作り方を示し、より効果的な書き方について考えさせる。

	第9時 本時	発表メモをもとに、資料や写真、具体物を見せながら、話す練習をする。	イー 聞き手によく分かるように、資料を指し示しながら話している。 【練習の観察】【相互評価】	・よいモデルを提示し、発表のポイントとなる言葉を確認する。 ・相互評価カードを用意し、お互いにアドバイスさせる。 ・広い活動空間を確保するために、音楽室で行う。
	第10時 本時 ・ 11時	発表を行い、自分の考えと照らし合わせながら友達の発表を聞いて、自分の考えを深める。	イー 自分の考えと照らし合わせながら友達の発表を聞き、メモを取っている。 【学習プリントの記述把握】	・聞き取りメモカードを用意し、自分のと比べての感想・意見を書かせる。 ・広い活動空間を確保するために、音楽室で行う。
三 次	第12時	調査活動や発表会を経て深まった自分の考えを明確に表現するための文章の組み立てを考える。	ウー 自分の考えを明確に表現するための文章の組み立てを考えている。 【学習プリントの記述把握】	・発表メモや聞き取りメモを活用して文章の組み立てを考えられるように、組み立てシートを用意する。
	第13時 ・ 14時	自分の考えを文章にまとめる。	ウー 事実と感想・意見を区別しながら、自分の考えが明確になるように、組み立てを考えて文章を書いている。 【作品】 アー これまでの活動を経て深まった自分の考えを、文章に書こうとしている。 【作品】【授業の観察】	・事実と感想・意見はどのように書き分ければいいのか確認する。
	第15時	書き上げた文章を友達と読みあって、お互いのよさを伝え合ったりする。	アー 自分と友達の考えを比べながら、自分の考えを深めようとしている。 【作品】【授業の観察】	・それぞれのよさを付箋に書いて作品に貼り、感想交流する時間を確保する。

6. 本時の指導

(1) ねらい

自分の考えをさらに深めるために、自分の考えと照らし合わせながら友達の発表を聞くことができる。

(2) 展開

段落	学習内容と学習活動	・指導上の工夫と 評価 <教材・教具>
導入 5分	1. 前時を想起する。 2. 学習課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 自分の考えと照らし合わせて友達の発表を聞き、意見交換することで、自分の考えをさらに深めよう。 </div> ・目的意識：自分の考えを深めるため ・相手意識：発表する友達	・指導上の工夫と 評価 <教材・教具> ・前時の感想を読み、前の時間の活動を思い出すことで本時の意欲を高める。 ・「自分の考えと照らし合わせて聞く」とはどのようなことなのか、しっかりつかませる。 ・この発表会がゴールなのではなく、友達の発表を聞いて自分の考えを深め、それを次にまとめて書くのだという見通しをもたせる。
展開 35分	3. 自分の考えと照らし合わせて聞きながらメモをとる方法を学ぶ。 4. 発表会の進め方を確認する。 5. 発表会をする。 (15分×2回)	・メモはできるだけ簡潔にとらせる。 ・自分のと比べての感想・意見は、しっかり書かせる。 <CDラジカセ> ・意見交換は発表内容に関することとし、話し方についての相互評価は前時に行っているため、本時では行わないことを確認する。 ・次時に発表するE～グループの児童は、興味を持った調査内容の発表を、事前に自由に選んでおき、はっきりした目的意識を持って聞くようにさせたい。 ・参観者にも発表会に入ってもらい、子ども達の発表に対して質問や感想などを言っていただく。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> 評価イー </div> ・聞き取りメモを上手に取れている児童や、発表者の意図をきちんととらえて意見や感想の交流を行っているグループまたは児童を紹介し、よい意見交換の仕方を全体に広める。
まとめ 5分	6. 学習を振り返る。 ・自己評価・感想 ・感想発表 7. 次時の予告をする。	・自分の考えと照らし合わせて友達の発表を聞いたか、自己評価をする。 ・E～グループの次時にがんばりたいことも含めて感想を発表させる。 ・次時は、E～グループの発表会をすることを伝え、今日の学習を生かしてよりよい発表会にしようと投げかける。

(3) 評価と支援

【観点】	【具体の評価規準】	【評価に応じた支援】
イー	<p>A 自分の考えと照らし合わせながら友達の発表を聞いてメモ（下段）を取り，意見や感想を話している。</p> <p>B 自分の考えと照らし合わせながら友達の発表を聞き，メモ（下段）を取っている。</p>	<p>A 優れた点を具体的に取上げ，称賛する。</p> <p>C 自分の調査内容と比べさせ，類似点や相違点，なるほどなあと思ったところがないか考えさせる。</p>

(4) 板書計画

<p>発表会の進め方 発表 メモをまとめる（一分くらい） 意見交換</p> <p style="text-align: right;">15分 × 2回</p>	<p style="text-align: center;">調べて分かったこと</p> <p style="text-align: center;">考え・提言</p>	<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin: 0 auto;"></div> <p style="text-align: center;">さんの発表</p>	<p style="text-align: center;">感想 疑問 意見</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>人と「もの」との付き合い方</p> <p>自分の考えと照らし合わせて友達の発表を聞き、意見交換することで、自分の考えをさらに深めよう。</p> </div>
		<p style="text-align: center;">感想・意見など</p> <p style="text-align: center;">（自分のとくらべて）</p>	<p style="text-align: center;">類似点</p> <p style="text-align: center;">相違点</p>	